

「評価結果の概要」

センターが把握している圏域の特徴

【圏域の人口等】平成28年(2016年)10月1日現在

総人口 71,961人 / 高齢者人口 16,482人 / 高齢化率 22.90 %

【圏域の特徴】

豊中市内で人口・高齢者人口が一番多い圏域です。圏域内で高齢化率にばらつきがあり、課題が地域によって異なります。圏域内には病院が多くあります。(市立豊中病院、緑ヶ丘病院、関西リハビリテーション病院、刀根山病院)坂道が多い地域で、足腰が弱くなってくると外出するのも徐々に難しくなり、外出の機会が減ってしまうことが課題となっています。

センターの取組方針や特徴

「連携」をキーワードに、ご本人やご家族、地域の主要な方たち、医療関係者、介護関係者等と、まずはセンターがつながり、そこからつながりを広げていくことで、大きく、密なネットワークになるよう働きかけています。人とのつながりを大切に、地域の中でやりたいことや思いを持っている人と繋がりを一緒に動いていくことで、地域主体の活動の活性化を進めたいと考えています。地域力の高まることが、住民生活の質の向上に繋がると考え、包括的・継続的ケアマネジメント業務の充実を図っています。

特に、医療と介護の連携を目的とした「少路・柴原あんしんプロジェクト」の活動や、様々な世代が集える「あた☆DECO食堂」の活動に参加し、様々な視点から地域でのつながりづくりに取り組んでいます。

総評

高齢部会や多職種連携への取り組みを通して、地域でのネットワーク作りに力を注いでいます。職員のスキルアップのための取組(研修計画の策定、研修内容の共有、記録の保管等)や、虐待対応における帳票作成などに対する取組が望まれます。

好事例

○地域との連携について、高齢部会において認知症徘徊模擬訓練を実施するなど、地域とつながっていく活動を積極的に実施しています。

○介護支援専門員に対する支援について、介護支援専門員向けの研修会の開催や、市立豊中病院との共催で「わの会認知笑部」や「はーと会」を開催しています。